

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の418億8,227万1千円に比べ、34億3,320万8千円、8.2%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成29年度 当初予算額 (A)	平成28年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) - (B)	伸 び 率 (A) - (B) / (B)
病 院 事 業	7,267,662	7,403,954	△136,292	△1.8
水 道 事 業	15,426,103	19,435,833	△4,009,730	△20.6
工業用水道事業	13,152,949	12,146,368	1,006,581	8.3
電 気 事 業	2,602,349	2,896,116	△293,767	△10.1
合 計	38,449,063	41,882,271	△3,433,208	△8.2

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入した県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 770床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	216,445人	593人
外来患者数	168,698人	691人

イ. 収益的収支 収入 5,361,804千円 資本的収支 収入 1,531,981千円
支出 5,275,571千円 支出 1,992,091千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が30億198万円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が23億5,982万4千円で、合わせて53億6,180万4千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が50億8,479万円、支払利息等の医業外費用が1億9,078万1千円で、合わせて52億7,557万1千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、平成29年度は8,623万3千円の経常利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債4億9,080万円や県費負担金4億4,118万1千円など、合わせて15億3,198万1千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費5億748万5千円や企業債償還金7億8,740万6千円など、合わせて19億9,209万1千円を計上しています。

ウ. 平成29年度の事業運営

県立こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、県立一志病院においては、総合診療医（家庭医）を中心としたプライマリ・ケアの取組など、また、県立志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、診療体制の回復を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めるなど、それぞれの県立病院に求められている役割・機能等を踏まえつつ、県民の皆さんに安全で良質な医療が提供できるよう充実した取組を実践するとともに、引き続き経営改善に努めていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 71,262,828m³

1日平均給水量 195,777m³

イ. 収益的収支	収入	9,484,568千円	資本的収支	収入	1,030,928千円
	支出	9,200,563千円		支出	6,225,540千円

収益的収入は、給水収益86億964万9千円及びその他営業収益を合わせた営業収益86億1,404万4千円と長期前受金戻入8億1,009万1千円等の営業外収益8億7,052万4千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、減価償却費等の営業費用85億879万円と支払利息等の営業外費用6億8,977万3千円が主なものです。

以上の結果、3,365万円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、補助金4,723万2千円と一般会計出資金9億8,369万6千円です。

資本的支出は、北勢水道改良事業等の建設改良費32億2,997万5千円、企業債償還金29億9,556万5千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北勢水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	H29	108,833	108,833	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H29	1,580,426	1,580,426	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H29	541,694	541,694	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H29	945,020	945,020	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行っています。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	91社
(イ) 年間総給水量	202,973,715m ³
1日平均給水量	556,092m ³

イ. 収益的収支	収入 6,056,114千円	資本的収支	収入 3,407,759千円
	支出 5,847,453千円		支出 7,305,496千円

収益的収入は、給水収益53億1,591万円及びその他営業収益を合わせた営業収益55億6,871万9千円と長期前受金戻入4億4,822万3千円等の営業外収益4億8,739万5千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用55億2,082万円と支払利息等の営業外費用3億2,463万3千円が主なものです。

以上の結果、3,120万9千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債30億円と一般会計出資金2億2,143万9千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費52億9万円と企業債償還金21億540万6千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	H29	348,819	348,819	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H29	4,432,916	4,432,916	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	H29	218,841	218,841	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	H29	19,569	19,569	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電を行っています。また、平成27年4月1日に全ての水力発電所の民間譲渡が完了しており、水力発電事業の残務整理を行っています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 43,547,190kWh

イ. 収益的収支 収入 1,467,053千円 資本的収支 収入 500,339千円
支出 2,602,349千円 支出 ー千円

収益的収入は、電力料7億2,525万6千円等の営業収益14億2,209万8千円と長期前受金戻入4,150万5千円等の営業外収益4,495万5千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、修繕費等の営業費用25億7,448万3千円と消費税及び地方消費税等の営業外費用2,586万6千円が主なものです。

以上の結果、10億5,506万8千円の当期純損失を計上しています。

また、資本的収入は、長期貸付金償還金5億円が主なものです。

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。